



信州大学教育学部附属長野小学校学校だより

令和6年4月12日(金) No.2



題字：校長、文責：教頭

4月4日(木)、71名の新一年生を迎えて令和6年度の附属長野小学校がスタートしました。入学式では、校長先生から「新しいことにチャレンジ」「友達を大切に」「交通事故やけがのないように」の三つのお話があり、一年生は「はい!」と元気よく返事をしていました。同窓会長様からは、おうちの方に学校であったうれしかった楽しかったことを話してほしいというお話があり、「何が楽しみですか」という問いかけには、「勉強!」と1年生が応えていました。児童会長さんからは「本校自慢の自然体験園」などの紹介があり、「6年間エンジョイしてほしい」とメッセージが送られました。今週は、早速学校探検や自然体験園で遊ぶ元気な1年生の姿が見られました。附属長野小学校の日常がスタートしました。



知らない世界への冒険(4月4日 前期始業式 校長講話)

1 3人の発表について

みなさん、先程の3名の代表児童の皆さんの「新しい学年・新しい学期への希望」の発表、素晴らしかったですね。

2 わたしの挑戦について

そこで、私も今年の自分の挑戦を考えてみました。それは、(模造紙を貼る)
「知らない世界への冒険」
どこに冒険をしに行くかというと、
「信大お宝めぐり」です。

この地図を見てください。ここが長野小学校ですね。長野小学校は、信州大学教育学部附属なので、信州大学グループの仲間なんですね。信州大学グループは、他にも「〇〇学部」と呼ばれる専門の研究をしている建物がたくさんあるんですね。

そして、それぞれの学部では、大切にしているお宝があると聞いています。皆さん、そのお宝って何だと思えますか。今年度の私の挑戦は、5回ある校長講話で、信州大学の各学部にお邪魔をさせていただき、そこから生中継をして、それぞれの学部で大切にしているお宝を紹介していきたいと思います。きっと、私も皆さん



も、まだ知らない世界に出会えるのではないかと楽しみにしています。

3 みんなの挑戦は？

さて、それじゃあ、今度は、みなさんの今年の挑戦は何かな？すてきな挑戦ができるといいですね。一人一人の挑戦に期待しています！新しい学年でどんなことに挑戦してみたいか、教室でも話し合ってみてくださいね。

(4月4日 前期始業式より)

聞こえてくる、わたしの「音」

子どもたちの「活動の様子」や「声」、新しい長野小から聞こえてくる「音」を紹介します。始業式では、全校児童を代表して3名のみなさんが、がんばりたいこと、取り組みたいことを発表してくれました。



2年生のIさんは、電車の中でのマナーを呼びかけ、自分の頑張りたいと話してくれました。廊下を走らないことや、授業中は静かにして1年生の見本になりたいと、2年生になったからこそその責任感からくる目標をお話してくれました。

4年生のSさんは、みんなで仲良く過ごせるように、優しい言葉を使えるようになりたい。先生に教わったチクチク言葉とフワフワ言葉を意識して、友達を大切にできる人になりたいと、お話してくれました。クラスが変わり、新しい友達との出会いがある4年生だからこそ学級づくり、学年づくりへの挑戦を語ってくれました。

6年生のHさんは、谷浜鍛錬会について語ってくれました。伝統ある6年生の行事、全校を動かすことが多くなる6年生ですが、6年生だけで作り上げる谷浜鍛錬会で、25分間泳ぎ続けたいと、最高学年としての決意を語ってくれました。

4月の校舎内を回ると、子どもたちの新しいスタートへの期待の声が聞こえてきます。新しいことに挑戦したい、学びたい、伸びたい、そんな子どもたちと我々、職員一同も「共に在り」たいと思います。令和6年度もどうぞよろしく願いいたします。

